

高次脳機能障がいチェックリスト 評価マニュアル(案)

資料10

この評価マニュアルは、「高次脳機能障がいチェックリスト」をつけていただく際の評価基準となるものです。
また、支援者がスモールステップの支援計画を組み立てたり、ご本人やご家族が自ら次の目標を設定する際の参考になるものです。必要に応じてご活用ください。

評価項目	評価内容	評価				
		0(問題なし)	1(環境調整・代償手段)	2(見守り・声かけ)	3(手助け)	4(支援が困難)
注意障がい	①選択的注意 周りの音や声に注意が散ることなく作業や会話ができますか	うるさい場所でも話し相手の声だけ聞き取ったり、やるべき作業に取り組める	ヘッドホンを使用したり間仕切りをしたりすれば取り組める	名前を呼んだり、今すべきことを伝えたりすれば、必要なものに注意を向けられる	1対1で話をしたり、一緒に同じ作業を行えば取り組める	1対1であっても、いろんなことが気になって作業や会話ができない
	②持続的注意 ひとつのことに長く集中して取り組めますか	集中力を持続できる	ひとりになれる空間や静かな空間を設定しておけば取り組める	他の事に気をとられても、集中するよう促したり声をかけたりすれば、作業に戻る事ができる	一緒に作業をすれば集中することができる	じっと座っていることができず、集中することは困難
	③注意の分配 複数のことに同時に注意を向けて作業することができますか	同時作業ができる	手順書を作ってそれを見ながら取り組んだり、下準備(順番通りに並べておく)をしてあげれば取り組める	1つのことに気を奪われやすいが、声をかければ、他のことにも注意を向けられる	常時注意を促したり、1つずつ指示を出すことが必要	同時作業をするとミスが多く、できない
	④注意の転換 ひとつのことから他のことへ切り替えることができますか	(ゲーム等に熱中していても)必要に応じて切り替えることができる	アラームやタイマーを用いることで切り替えられる	名前を呼んだり、今すべきことを伝えれば切り替えることができる	不要なものを片付けたり、必要なものに興味を引くようにすれば切り替えられる	一度取り組み始めるとひとつのことに没頭し、切り替えられない
	⑤半側空間無視 片側の物や空間を見落とさずに作業することができますか	片側を見落とすことはない	左側(又は右側)を意識して見たり、端に印をつけたりすることで見落とすことはない	端まで見るよう声かけすれば注意を向けられる	空間無視のない側から声をかけたり、指差して端を示すなど、常時見落とさないよう声かけが必要	いくら見るよう促しても見落としてしまう
記憶障がい	⑥見当識 今日の日付・時間・季節・場所がわかりますか	自分で把握できている	カレンダーや時計、携帯等を自分で見て確認できる	時計などを見るよう促せば確認できる	その都度日付や時間を伝えることが必要	いくら伝えても把握できない
	⑦ワーキングメモリー 指示された内容を覚えて作業することができますか	覚えて指示どおり作業ができる	指示内容を自分でメモしたり、メモに書いてもらったりし、それを見ながら取り組める	もう一度指示を伝え直したり、メモを見るよう声をかければ取り組める	メモを見ることをすぐに忘れてたり、指示されたことすら忘れるため、何度も指示することが必要	指示とは異なることをしてしまうため、常時付き添うことが必要
	⑧展望記憶 頼まれたことや予定・約束を覚えておくことができますか	覚えておくことができる	スケジュール帳やメモを用いて予定管理したり、アラーム機能等を用いて一人で実行できる	メモをとるよう声をかけたり、予定の前日に声をかけておけば実行できる	メモや予定表を見ることを忘れてたり、約束したことを忘れるため、直前に伝えることが必要	約束を間違えて覚えたり、頼まれごととは異なることをしてしまうため、常時確認が必要
	⑨長期記憶 最近の出来事や食事の内容などを思い出すことができますか	何を見ずとも思い出せる	メモリーノートやメモ、写メを見て思い出せたり、確認することができる	メモを見るよう促されれば、思い出したり確認することができる	関連する言葉や物を見せれば思い出したり答えたりすることができる	メモ等を確認しても納得することができない

評価項目	評価内容	評価				
		0(問題なし)	1(環境調整・代償手段)	2(見守り・声かけ)	3(手助け)	4(支援が困難)
遂行機能障がい	⑩計画の立案 毎日の予定をたてられますか	たてられる	1日の行動をリストアップし、スケジュール表を作ることで予定をたてられる	周りの人から優先順位を指示してもらうことで予定をたてられる	周りの人が一緒に予定をたてる必要がある	周りの人が手助けをしても、予定をたてるのが難しい
	⑪計画の実行 外出前の準備や料理などを段取りよく進めることができますか	問題なく進めることができる	メモやタイマーなどの補助手段を用いることで問題なくできる	周りの人に次の行動を指示してもらう必要がある	周りの人が次の行動と一緒に行動を行う必要がある	周りの人が手助けをしても、段取りよく進めるのが困難
	⑫効率的な行動 急な予定変更に対応することができますか	臨機応変に行動することができる	誰かに相談する、メモを確認するなどの行動をとることができる	周りの人が声かけや次の行動を指示することで行動できる	周りの人が一緒に行動を行う必要がある	予定の変更や追加があると、パニックに陥り、行動できなくなる
	⑬判断 困ったときに誰かに相談することができますか	自分で判断できないことがあればスタッフや家族等に相談することができる	相談するというルール作りしておけば、困ったときに相談することができる	周りの人から声をかければ、困っていることを相談することができる	周りの人が状況を確認することによって自分が困っていることを把握することができ、相談できる	周りの人が指摘しても困っていることを把握できない
コミュニケーション	⑭疎通性 その場に適切な言動をとることができますか	その場にあった言動をとることができる	事前に確認しておくことで、その場に適切な言動をとることができる	周りの人が不適切な言動のたびに合図をしたりすることでその場に適切な言動をとることができる	周りの人が具体的に見本を見せたり、指示したりすることでその場に適切な言動をとることができる	手助けがあってもその場に不適切な言動をとってしまう
	⑮一貫性 会話の文脈や目的に沿った話をするができますか	問題がないか、もしくは会話の文脈からずれても、自ら気づき途中で修正することができる	その場の雰囲気や相手の態度(事前に学んだサイン等)を見て途中で修正することができる	会話内容からずれていることを周りの人が注意することが必要	周りの人が話の流れを何度も元に戻すなどの手助けが必要	手助けがあっても会話の文脈や目的に沿った話をするができない
	⑯理解(失語) 相手が言っていることを理解することができますか	正しく理解することができる	聞いただけでは理解できなくても、書いてあるものを見ることで補うことができる	周りの人が、理解できている部分を確認し、表現を変えて再度説明することで理解できる	身振り、実物、絵、文字を見せるなど、わかりやすい手段に変えて伝えることで理解できる	手助けしてもほぼ理解できない
	⑰表出(失語) 自分の言いたいことを相手に伝えられますか	相手に正しく伝えることができる	言い間違いに自分で気付いて修正したり、時間がかかるが短文レベルで話したり書いたりできる	自分で修正することは難しいが、表出される言葉から聞き手が言いたいことを推測できる	表情、身振り、指差しなどから聞き手が推測できる。選択肢を提示すれば選ぶことができる	相手に伝えることがほぼできない

評価項目	評価内容	評価					
		0(問題なし)	1(環境調整・代償手段)	2(見守り・声かけ)	3(手助け)	4(支援が困難)	
社会的行動障がい	⑱自発性	自発的に行動できますか	自発的に行動できる	スケジュール表やすべきことのチェックリストなどを確認して概ね自身で行動できる	行動開始のきっかけになるような声かけにより行動できる	スケジュール表やチェックリストの確認を一緒に行ったり、一緒に行動することが必要	手助けをしてもほぼ行動できない
	⑲意欲	日中横にならずに過ごせますか	横にならずに過ごしている	すべきことのチェックリストを作成することや出来そうな役割を事前設定することで概ね横にならずに過ごせている	行動開始のきっかけになるような声かけにより行動できる	楽しいことや興味のあることを提供し、行動を共にしたり疲労に留意することが必要	手助けをしてもほぼ横になっている
	⑳依存性	自分でできることは依存せずにできますか	依存せずに自立している	依存傾向を把握し、本人のやりやすい環境に調整することで概ね自立している	依存状況であることや自覚を促す声かけにより自立している	本人の行動を客観的に伝え、必要とされる行動を促したり、見本を提示するなどにより自立している	依存傾向が強く、できることを自分では行わない
	㉑易怒性	イライラせず、精神的に安定して過ごせますか	安定して過ごせている	静かな場所や時間等の環境設定をしたり、深呼吸して気分転換を図る等自分で対処することで安定して過ごせる	見守りや状況確認の声かけにより安定して過ごせる	定期面談や感情コントロール練習により安定して過ごせている	手助けをしてもイライラしやすく不安定なことが多い
	㉒易怒性	暴言や暴力はありますか	暴言や暴力は見られない	暴言や暴力につながるような状況を作らないよう配慮することで、暴言や暴力は見られない	見守りや状況確認の声かけにより、暴言、暴力はほぼ見られない	本人と共に対処法を考え、記録を残して振り返ることにより、暴言、暴力はあまり見られない	手助けをしても暴言、暴力が見られる
	㉓固執	生活や周りの人に支障が出るほどのこだわりがありますか	支障が出るほどのこだわりはない	あらかじめ本人と妥協点を探り、ルールを決めておくことで支障はない(例:おやつを10時と3時に決める等)	見守りや状況確認、切り換えを促すといった声かけによりほぼ支障はない	会話や一緒に行動することで、こだわっている事柄から興味をそらすことができる	手助けをしてもこだわりが強く、生活や周りの人に支障が出る
	㉔欲求コントロール	欲求をコントロールできますか(際限なくネットショッピングをする、健康を害するほど食べ過ぎる等)	欲求をコントロールできる	制限を設けたり、自分で記録を付けて管理できるようにすること等により、概ね欲求コントロールできる	自覚の促しや状況確認、助言等の声かけにより欲求コントロールできる	誰かが一緒に買い過ぎないように、食べ過ぎないように、頻繁に確認する必要がある	手助けをしてもコントロールが困難
	㉕独善的処罰感情	考え方に合わない人を責めたり攻撃したりしますか	自分の考え方と違っても許容できる	考え方の合わない人と同席しない等の環境設定をしたり、本人も関わらないように気をつけることで、回避する	周囲の声かけや助言により責めたり攻撃したりしない	詳細に事情を説明すれば許容できる、もしくは、許容できなくても相手を責めたり攻撃したりはほぼしない	何度も事情を説明しても責めたり攻撃したりする
	㉖易疲労性	すぐに疲労感を訴えますか	訴えない	無理をしないようなスケジュールを組む(休憩を入れたり、作業量調整等)ことで訴えない	疲労感の確認や休憩の促しなど周囲からの声かけにより訴えない	本人の得意な活動を行ったり、気分転換を行ったりすることで、ほぼ訴えない	いろいろな介入をしてもすぐに疲労感を訴える
㉗生活リズム	起床、食事、睡眠などのリズムは規則正しいですか	規則正しい	生活リズム表を活用するなど規則正しい生活ができる	食事や睡眠の時間の声かけや促しをすることで概ね規則正しい生活ができる	頻繁に声かけや促しをすることで概ね規則正しい生活ができる	手助けをしても生活リズムは乱れる	

評価項目	評価内容	評価				
		0(問題なし)	1(環境調整・代償手段)	2(見守り・声かけ)	3(手助け)	4(支援が困難)
日常生活動作	㉔移動(屋内) 安全に移動できますか	安全にひとりで移動できる	目印があったり地図を見たりすればひとりで移動できる	声をかけたり、見守りすることが必要	一緒に行動することが必要	常時目を離すことができない
	㉕移動(屋外) 安全に移動できますか	安全にひとりで外出できる(交通機関含む)	経路や地図などを見たり、慣れた場所であればひとりで移動できる	経路や地図などがあり、出かける前に確認しておくことが必要	一緒に行動することが必要	常時目を離すことができない
	㉖食事 安全に食べることができますか(むせる、こぼす、見落とすなどがない)	安全にひとりで食べることができる	おかずを一口大にしたり、すくいやすいお皿にするなどの工夫をすれば、1人で食べることができる	ゆっくり食べるように注意を促せばひとりで食べることができる	1品ずつ出す、ゆっくり食べるように声かけをする、などが必要	常時目を離すことができない
	㉗排泄 失敗なく排泄ができますか	失敗なく排泄できる	手すりをつけたり、アラームで時間設定すればひとりで排泄でき、また、失敗することはない	トイレを促す声かけや、見守りがあれば排泄できる(失敗があっても月に1回未満)	ズボンやパンツの上げ下げなどの介助があれば、排泄できる(失敗があっても、週に1回程度)	時間を決めての声かけや見守り、介助をしても、排泄の失敗がある(週に2回以上)
	㉘身だしなみ 状況に応じた身だしなみをすることができますか	状況に合わせた身だしなみができる	前もって伝えておけば、状況に合わせた身だしなみができる	外出前に声かけしたり、準備したりしておけば、状況に合わせた身だしなみができる	一緒に準備・確認が必要	支援者が準備をし、確認をしても、状況に合わせた身だしなみをするのは難しい
	㉙入浴 お風呂に入ることができますか(転倒や洗い残しなく)	ひとりで安全に入浴できる	手すりや、シャワースイス、ボディプラン、洗体手順表などを利用すれば一人で入浴できる	声かけや見守りが必要	背中洗いや、浴槽への出入りなどの介助があれば安全に入浴できる	安全に入浴するには支援が必要
	㉚服薬 時間どおりに決められた量を服薬することができますか	頓服薬も含めて自己管理できる	1週間分の入れ物を利用するなど工夫すれば服薬できる	服薬時の声かけや間違いがないかの確認があれば一人で服薬できる	服薬の準備をし、また、食後に手渡すなどすれば、服薬できる	服薬を嫌がったり、頓服をたくさん飲んでしまうなど、適切に服薬するために困難が伴う